

産業廃棄物の削減

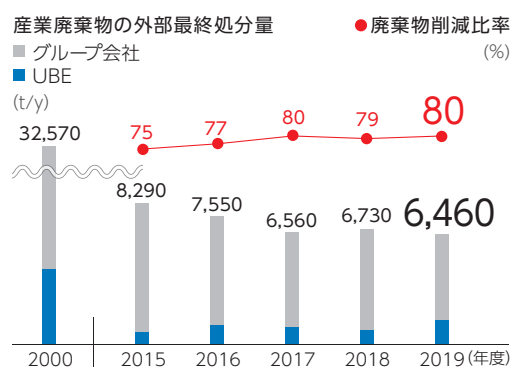
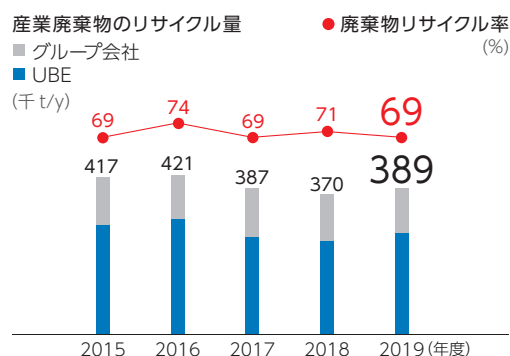
国の第4次循環型社会形成推進基本計画では、産業廃棄物の最終処分量について、「2025年度に2000年度から約77%減」としています。UBEグループは、循環型社会の形成に向けて産業廃棄物のリサイクルや最終処分量の削減を推進しています。

産業廃棄物のリサイクル

化学工場、自家発電所、機械工場などから多様な産業廃棄物が発生しますが、それらの多くを、セメント工場をはじめとするUBEグループ内でリサイクルしています。

産業廃棄物の最終処分量

2019年度の外部最終処分量は、2000年度比で80%削減しました。2020年度以降も引き続き削減に向けた取り組みを継続していきます。



産業廃棄物の処理フロー

2019年度の産業廃棄物の発生量、リサイクル量、減量化量などについては、「統合報告書2020資料編(環境安全)」のP7に掲載しています。



https://www.ube-ind.co.jp/ube/jp/ir/ir_library/integrated_report/pdf/2020/integrated_report_appendix_6.pdf

化学物質の排出抑制

化学工業界は法規制を遵守するだけでなくPRTR法^{*1}に基づく情報公開制度などを通して、自主的な化学物質の排出抑制を進めています。UBEグループでは、PRTR法対象物質や揮発性有機化合物(VOC)^{*2}の中から、排出量の多い20種類の化学物質^{*3}を全社の20重点物質に選定し、排出削減を進めています。

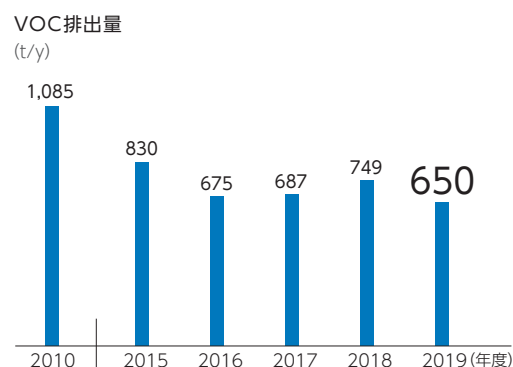
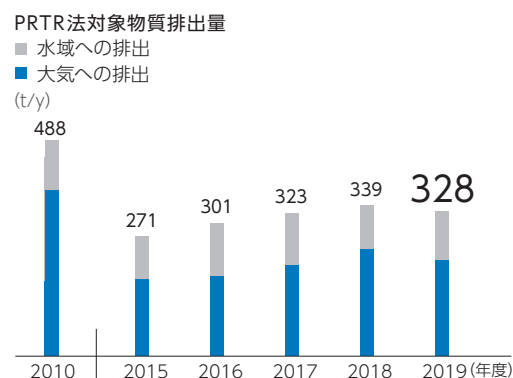
2019年度は、この20化学物質の総排出量を29%削減(2010年度比)することで、PRTR法対象物質やVOCの排出抑制を推進しました。

PRTR法対象物質の排出抑制

UBEグループではPRTR法対象の462物質のうち、61物質を取り扱っています(2019年度)。これらの排出量を2010年度比で33%削減しました。

VOC排出の抑制

UBEグループは2019年度のVOC排出量を2010年度比で40%削減しました。



https://www.ube-ind.co.jp/ube/jp/ir/ir_library/integrated_report/pdf/2020/integrated_report_appendix_6.pdf

PRTR個別物質

PRTR法対象物質のうち、排出量上位10物質について、排出量、移動量などのデータを「統合報告書2020資料編(環境安全)」のP7に掲載しています。



用語解説

*1 PRTR(Pollutant Release and Transfer Register)法:P57の用語解説を参照。

*2 VOC(Volatile Organic Compounds):揮発性を有し、大気中で気体となる有機化合物の総称。浮遊粒子状物質および光化学オキシダントの生成原因となる。

*3 自主選定した20種類の化学物質:「統合報告書2020資料編(環境安全)」のP2を参照。